

鉄道ピクトリアル

2018年8月号 Vol.68 No.8 通巻No.948

〈特集〉DF50形

■表 紙 お召装備のDF50 8[亀]瀬戸秀夫

和歌山機関区 1971-10-26

■グラフ

昭和のDF(1~8ページ)

浜村正弘・中村卓之・西尾恵介・西尾源太郎

星 晃・川井一彦・和田康之・千田正哉

石原裕紀・福井 浩・戸城英勝・三ッ谷政久

安田孝哉・佐藤利生・山口 徹・岡本文彦

DF50保存機めぐり(96~97ページ)写真と文: 第6かいぎしつ

*

1950~60年代 各地の亜幹線で活躍したDF50の想い出

.....伊藤 昭・伊藤威信 45

DF50 Collection写真: 遊川 清・佐藤利生ほか 52

九州のDF50写真: 大塚 孝・林 嶽ほか 70

*

Pictorial Color Gallery エスコーテーDE10山 中 茂 93

「東京都交通局5500形(浅草線新形車両)/京浜急行電鉄デ

ハ236外板塗装・床修繕完了/JR東日本EF81 95が検査 98~100

出場/JR九州YC1系登場ほか 114

各地の話題から白 川 淳 101

トピック・フォト(各地・関東・中部・関西) 102

阪急電鉄のヘッドマーク 2017年度版竹内 宗隆 110

神戸電鉄旧塗装復刻「メモリアルトレイン」登場 115

連載・昭和の鉄景(第20回)椎橋 俊之 116

■本文

今月の話題: DF50形編集部 9

DF50形機関車 開発の背景と効果野元 浩 10

DF50形機関車のあゆみ服部 朗宏 19

高松近郊におけるDF50の想い出真鍋 裕司 73

DF50形の運用表から三宅 俊彦 78

〔DF50形機関車 移動表作成: 編集部 87〕

*

鉄道の話題編集部 44

絵葉書のなかの国鉄ローカル線(42) 若桜線白土 貞夫 90

書評(641)『タイ鉄道と日本軍 一鉄道の戦時動員の実像1941~1945年』

.....三木 理史 92

北朝鮮 平義線の歴史と現況 (1) 戦前・戦後の路線史

.....小牟田哲彦 117

JR北海道H100形量産先行車水上幸治・清水敬太 124

5月のメモ帳130

読者短信・情報ファイル131

後部車から135

ISSN0040-4047
Tetsudō pikutoriaru



カット: 山本茂樹

DF50形

戦後、国鉄の動力近代化進捗において、その先駆けを担った機関車がDF50形である。戦前、国鉄ではドイツから導入した電気式DC11、機械式DC10を嚆矢として内燃機関車の開発に着手されたものの、戦時体制に伴い中断、戦後欧米の影響を受けつつ再開されたディーゼル機関車の歴史は、本線用として1953(昭和28)年に電気式DD50形が開発され、国鉄最初の本格的なディーゼル機関車として1次車3両が就役、引き続き1955(昭和30)年には3両が増備され、北陸本線の急行列車などの牽引機として運用された。DD50形は好成績をおさめたものの、2両重連運用を前提としていることや暖房用蒸気発生装置が未装備であるなど、使い勝手に難があり、改良形として電気式ディーゼル機関車の決定版となるDF50形が1957(昭和32)年に誕生したのである。

DF50形は片運転台式B-B形軸配置のDD50形に対し、当時は珍しいB-B-B形軸配置で軸重を14t以下に軽減し、線路規格の劣る亜幹線における運用が可能とされた。スルザー社との技術提携による1,060PS機関を搭載、蒸気発生装置も搭載し新三菱重工で第1号機が新製され、土讃線に投入された。1958(昭和33)年には500番代で区分されたMAN社との技術提携によった1,200PS機関搭載のタイプも登場し、電気式ディーゼル機関車の標準形として四国地区、山陰地区をはじめ九州から東北各地に配属され、列車の無煙化に貢献した。ディーゼル機関車の標準形はその後液体式DD51形へと変遷するが、その技術史上DF50形の意義は大きく、電気式、液体式の両方式採用の経緯をはじめ趣味的興味も奥深い。DF50形は1984(昭和59)年まで運用され、現在は3両が四国鉄道文化館と津山まなびの鉄道館、大阪市東淀川区の菅原天満宮公園に保存されている。

TETSUDŌ TOSHO KANKOKAI
Mehrlicht Ochanomizu Bldg., Kanda
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan

今月の話題